

令和6年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員研修参加報告

工作部門土木建築実験機器管理班 藤沢 豊樹

1. はじめに（目的等）

中国・四国地区国立大学法人及び独立行政法人国立高等専門学校機構の技術職員相当の職員にある者に対して、その業務遂行に必要な基本的、一般的知識及び新たな専門知識、技術等を習得し職員としての資質向上を図るため本研修に参加した。

2. 期間・場所

開催地等： 島根大学 松江キャンパス（全体講義，専門分野実習（情報処理分野））
松江工業高等専門学校（専門分野実習（土木・建築分野，電気・電子分野））

3. 参加者等

中国・四国地区の国立大学法人及び国立高等専門学校機構の構成員 計28名

4. 研修内容

2024年8月21日（水）

全体講義Ⅰ（管理運営）

「国立大学の現状・将来課題と技術職員の役割」

島根大学 理事 増永 二之 氏

全体講義Ⅱ（土木建築分野）

「建設×デジタルによるインフラDXを牽引する次世代技術者教育」

松江工業高等専門学校 環境・建設工学科 教授 大屋 誠 氏

2024年8月22日（木）

分野別実習

情報処理 実習 「Microsoft Power Platformを用いた業務支援ツールの開発」

土木・建築 見学 「尾原ダム見学」

実習 「UAV写真測量・GNSS測量，UAVを用いた3次元地形測量」

電気・電子 実習 「シリアルインターフェース付きセンサ使用時における接続方法の比較実験」

2024年8月23日（金）

全体講義Ⅲ（情報処理分野）

「データサイエンス概論」

島根大学 数理・データサイエンス教育研究センター 助教 瀬戸 和希 氏

全体講義Ⅳ（技術組織）

「技術職員組織と支援業務事例紹介」

島根大学 総合科学研究支援センター 技術専門職員 山根 冬彦 氏

松江工業高等専門学校 実践教育支援センター 技術長 川見 昌春 氏

5. まとめと感想

今回の研修では、土木・建築分野で参加をした。全体講義では、国立大学の現状についてや島根大学、松江高専の技術職員の支援業務などを知ることができた。分野別実習ではダム見学とドローンを用いた3次元地形測量について学ぶことができた。ダムの中に入ることや、3次元で地形を見る測量法など今まで見たことがなかったため、良い経験をすることができた。また、いろいろな大学や高専の技術職員と交流をして、有意義な話をすることができた。今回の研修で学んだことを活かして、今後も業務を行っていききたい。